

維新政治を 変えて くらしに安心・希望を

「明るい民主大阪府政をつくる会」は訴えます。

くらし・医療が 変わる

どの子も安心して病院にかかれます
全国最低水準の子ども医療費補助の対象を、大阪府として小学校卒業までに拡大、市町村との協力で高卒まで。8億円で窓口負担(500円)を無料にできます。

乳幼児・子ども医療費助成の状況

	助成対象	対象年齢	窓口負担
大阪府	通院・入院とも	就学前まで	あり
東京都	通院	就学前まで	なし
	入院	中卒まで	
愛知県	通院	就学前まで	なし
	入院	中卒まで	

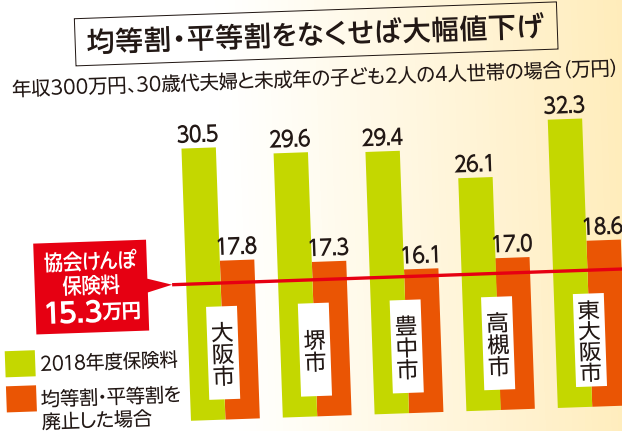
厚労省子ども家庭局母子保健課調べ(2017年4月1日現在) などから作成

維新 この10年間で、子育て、医療、福祉の予算をバツサリ減らし、府民の貧困と格差は拡大しています。

国にものを言い 府が責任をもち

セーフティネットの国保制度へ

国に国保料の「1兆円の公費負担増」を要求し、府・市町村の独自の減免制度を拡充。均等割・平等割をなくし、協会けんぽ並みに保険料を大幅に引き下げ、誰もが安心してかかる医療制度に変えましょう。



教育が 変わる

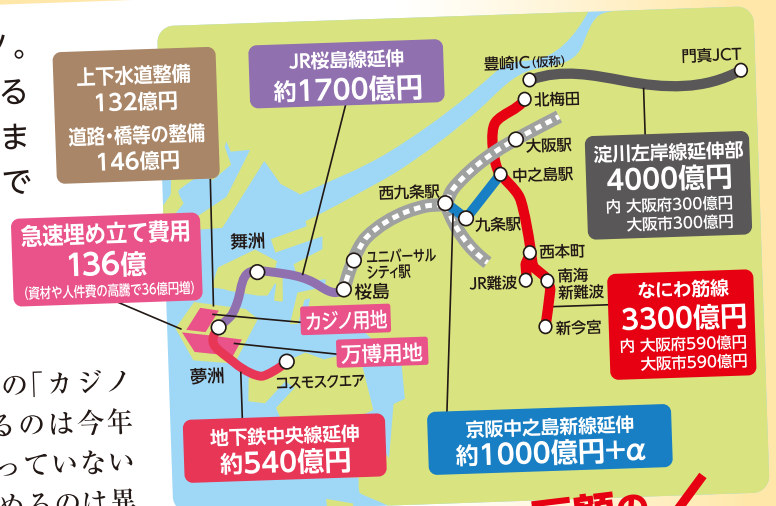
少人数学級が、学力向上や校内暴力の減少に効果があることは証明済み。80億円あれば中学校3年生までの「35人以下学級」が実現。子どもにストレスの「テスト漬け」を改め、チャレンジテストは中止です。

維新 大阪市では、中3の授業日数の1割以上がテストの日。「学テ結果を教員の賃金や学校予算に反映させる」と前市長が公言し、批判を浴びています。

カジノを 止める

人の不幸で儲けるカジノ。ギャンブル依存症が増えるほどカジノ企業は儲かります。韓国政府機関がバクチでプラス効果よりマイナスが4.7倍もあると発表。カジノの害は底なしです！

維新 誘致場所を決める国の「カジノ管理委員会」ができるのは今年の7月。今は何も決まっていないのに夢洲の整備を始めるのは異常です。



カジノのために巨額のインフラ整備！

いのちを守る自治体が よみがえる

最優先は住民のいのち・財産守ること！

地震・台風被害の恐怖と傷跡が残る大阪。住民のいのちを守るのが地方自治体の使命です。カジノ誘致関連の予算を防災・減災にまわせば、上下水道の耐震改修、危険河川の改修期間を短くできます。

- 老朽水道管の耐震改修のスピードアップ
- 三大水門の更新20年を10年に短縮
- 危険河川(中小)の改修30年の計画を10年に短縮 など



安治川水門 (大阪府HPより)



石津川下流

護岸の老朽化
鋼矢板の老朽化 (継ぎ手開き・腐食)

維新

カジノ・巨大開発に税金投入。30年以内の南海トラフ巨大地震・津波の発生確率は7割～8割、その被害額は28.8兆円と予想(大阪府)されているのに水門や河川の改修は後回しです。



明るい会は
呼びかけます！

くらし第一の
府政への願いを

元副知事へ

知事・
市長という
公職を手段に
選挙を
実施するのは
納得いかない

「都構想」を
終わらせよう！

退任時に「都構想」反対を鮮明に！

元副知事

「(維新は)1点を変えれば全てバラ色になるような主張をしているが、そうではない」「この機会に議論を打ち止めにすべきだ」と大阪市をなくす「都構想」にきっぱり反対しています。

大阪府はこうあるべき

府職員の経験をいかし
「自治体のあり方」「大阪の行く末を」

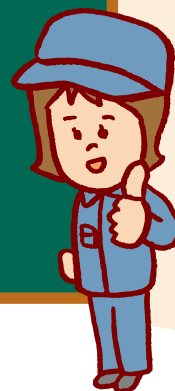
元副知事

大阪府の役割を明快に

「維新は、大阪市のことばかりしていた。衛星都市のことをしっかり考えながら府全体の発展を担っていく」として、大阪府が政令市・市町村と協力しながら進めていくと語っています。

元副知事の主張

- 都構想に終止符！
- 小中学校給食の無償化
- ものづくり中小企業や商店街の活性化
- 児童虐待対策の強化



都構想NO！
維新政治転換へ

維新政治に終止符を打てば、都構想をストップさせ、住民の立場からくらしや防災対策に力を注ぐ、本来あるべきまともな大阪府政を取り戻すことができます。

維新の「悪だくみ」許さない
間違った方向を良しとせず
気骨ある元副知事へ

元大阪市長・
公共政策ラボ代表
平松 邦夫氏



この間、「維新を応援した」という人と話をする機会があった。異口同音に「間違った選択」だったと後悔されていた。

自分勝手な理由で公職を放り出すだけにとどまらず、意のままになることを強いる「悪だくみ」を許すのかどうか問われている。

元副知事さんとは、府下市長会で初めてお会いした時に、実直そうな印象とともに、府下市町村の予算を切る人との印象があったのは事実。しかし、維新体制を支えることができないと判断され、副知事を辞した気骨ある人だ。大阪府で大阪都構想を止めるために政治生命をかける元市議さんとともに、間違った方向を良しとしない人こそが、いま求められている。